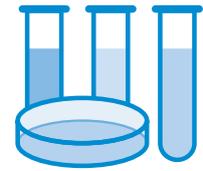


細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

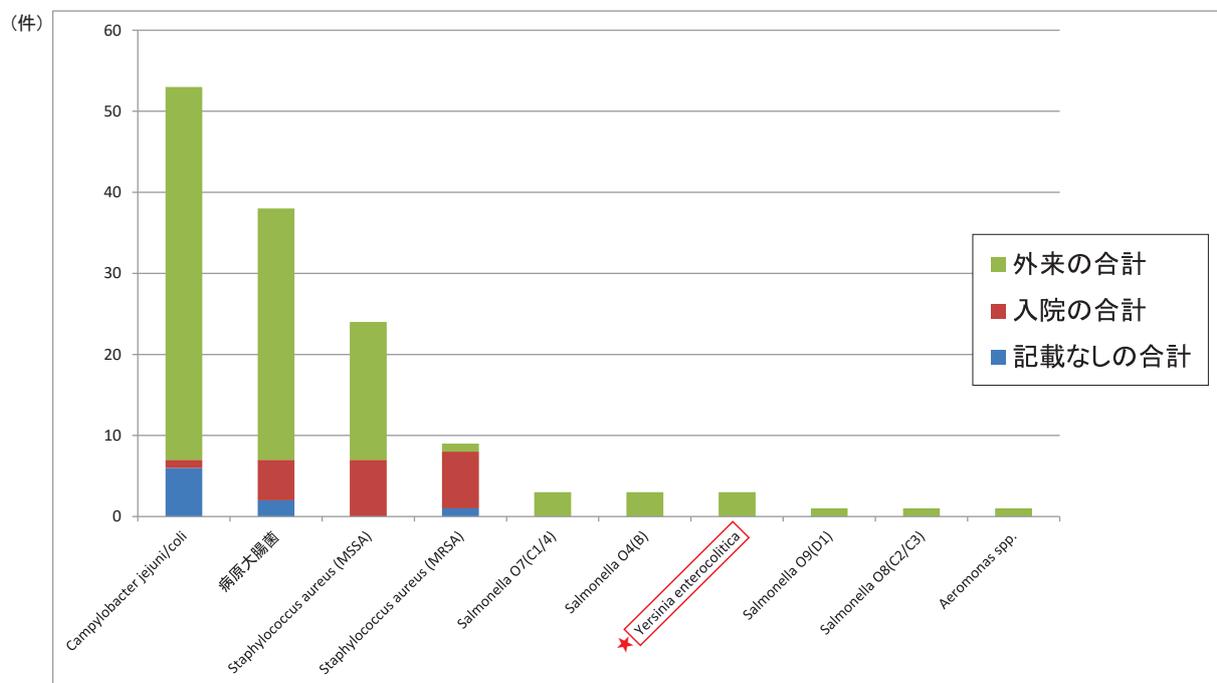


当検査センターで受託した細菌検査における統計資料を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、糞便の細菌検出状況と薬剤耐性菌分離状況を掲載いたします。

【細菌検出状況】

【糞便】細菌検出状況 2022年03月



2022年3月の糞便の細菌検出状況では *Yersinia enterocolitica* が3件検出されています。

Yersinia enterocolitica は豚、犬、猫などの腸管や自然環境中に存在する細菌で、食肉・飲料水から感染します。0～4度の低温でも発育し、冷蔵庫内の食品中でも増殖するため注意が必要です。潜伏期間は2～5日で、主に発熱、下痢、腹痛などの胃腸炎の症状が表れ、まれに虫垂炎や腸間膜リンパ節炎を起こします。

【薬剤耐性菌分離状況】

2022年 3 月

耐性菌名		呼吸器系		消化器系		泌尿器系		血液・穿刺液系		その他(膿など)	
		耐性率(%)	耐性菌 件数	耐性率(%)	耐性菌 件数	耐性率(%)	耐性菌 件数	耐性率(%)	耐性菌 件数	耐性率(%)	耐性菌 件数
ESBL(基質特異性拡張型 β-ラクタマーゼ産生菌)	Escherichia coli	51%	19	8%	3	31%	142	32%	6	29%	5
	Klebsiella pneumoniae	22%	13	0%	0	25%	22	20%	2	57%	4
	Proteus mirabilis	69%	11	—	0	51%	21	20%	1	63%	5
	Klebsiella oxytoca	15%	2	0%	0	17%	1	0%	0	0%	0
CRE(カルバペネム耐性腸内細菌科細菌)		0%	0	0%	0	0.15%	1	0%	0	0%	0
MDRP(多剤耐性緑膿菌)		0%	0	—	0	0%	0	0%	0	0%	0
MBL(メタロβ-ラクタマーゼ産生菌)		0%	0	—	0	0%	0	0%	0	0%	0
MDRA(多剤耐性アシネトバクター)		0%	0	—	0	0%	0	—	0	0%	0
MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌) ※1		56%	133	29%	10	47%	20	75%	15	28%	79
PRSP(ペニシリン耐性肺炎球菌)		0%	0	—	0	—	0	—	0	0%	0
VRE(バンコマイシン耐性腸球菌)		18%	2	0%	0	3%	6	0%	0	0%	0
BLNAR(β-ラクタマーゼ非産生アンピシリン耐性 H. influenzae)		7%	5	—	0	—	0	—	0	0%	0
BLPAR(β-ラクタマーゼ産生アンピシリン耐性 H. influenzae)		15%	11	—	0	—	0	—	0	0%	0
BLPACR(β-ラクタマーゼ産生アモキシシリン・クラ ブラン酸耐性 H. influenzae)		1%	1	—	0	—	0	—	0	0%	0

耐性率 = (材料別耐性菌件数) ÷ (材料別検出菌件数) × 100

耐性率が「—」で表示されているものは、材料別検出菌の検出がないものです

※1 耐性率 = (材料別 MRSA 件数) ÷ (材料別黄色ブドウ球菌件数) × 100

2022年 3 月の薬剤耐性菌分離状況では CRE (カルバペネム耐性腸内細菌科細菌) が 1 件検出されています。

CRE はカルバペネム系抗菌薬に耐性を獲得した腸内細菌科細菌で、感染症法の 5 類全数報告疾患に指定されています。無菌材料から検出された場合や無菌材料以外でも起炎菌と考えられる場合には、届け出が必要となります。

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況情報についての情報をご覧ください。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>

検査科微生物係